

# 富山台北便の再開とインバウンド誘致の取組み

富山県台北ビジネスサポートデスク 高原 真理

2024年1月31日、多くの人が心待ちにしていた、富山台北便の臨時便が富山空港を出発しました。新型コロナウイルスの影響により3年前から運休をしていた富山台北便。秋の行楽シーズンには台湾からの観光客を対象にチャーター便が飛びましたが、今回のチャーター便では富山からの搭乗も可能となります。

定期便の再開に向けた第一歩として、多くの観光関連事業者、自治体が期待を寄せているかと思えます。富山県企業や自治体は、再開後のインバウンド誘致に向けて、コロナ禍でも動いていました。本稿では、みなさんの取組みの一部をご紹介しますと思います。



## 1. 朝日町

春の四重奏でおなじみの朝日町。朝日町は6年ほど前から台湾からの誘客のためのプロモーション活動を積極的に行っています。手法の一つとして、台湾の旅行会社とのマッチング商談会を開催しています。新型コロナウイルスの影響で渡航できない期間はオンラインで春の四重奏を中心に朝日町の観光コンテンツを紹介しました。昨年からは台湾の旅行会社を直接訪問し、情報発信を行っています。旅行商品を造成しても、その旅行商品を選んでいただかなくては意味がなく、そのためにエンドユーザーに対するプロモーション活動と

して、SNS、旅行系WEBメディア、ネットニュース等を活用したプロモーション活動も同時に実施しています。

昨年の春は日本に住んでいるマレーシア人のインフルエンサーに春の四重奏に実際に足を運んで頂き、取材、繁体字での発信をして頂きました。フォロワー数約10万人（フォロワーの約70%は台湾人）に向けての情報の拡散が期待されています。



朝日町は、絶景の山と桜の風景が魅力です。春の四重奏は、絶景の山と桜の風景を楽しむための観光コンテンツです。朝日町の観光コンテンツを紹介しています。昨年からは台湾の旅行会社を直接訪問し、情報発信を行っています。旅行商品を造成しても、その旅行商品を選んでいただかなくては意味がなく、そのためにエンドユーザーに対するプロモーション活動と

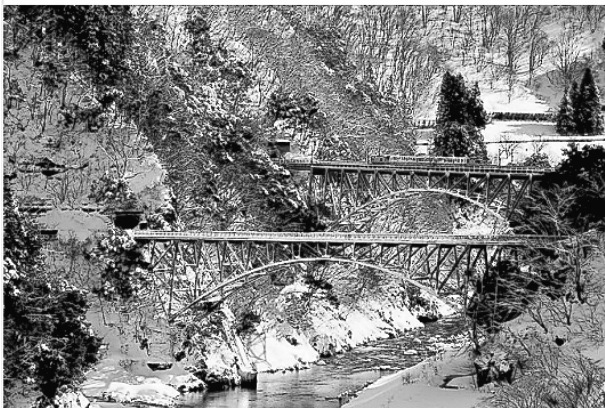
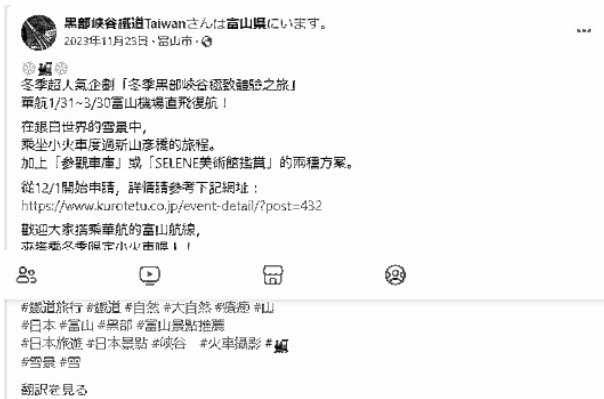


現在は、Instagram、YouTube、Facebookの影響が非常に大きく、実際にインフルエンサーに来てもらい、交通アクセスの紹介や、宿泊、食事、観光を含めた発信を行うことは朝日町のファンを育成する魅力的な取組みとなっています。

その他、旅行に特化したWEBメディアが台湾にはいくつか存在しています。その中で今年度は会員数82.4万人と台湾最大規模の訪日旅行サイトとされている旅行酒吧（トラベルバー）で旅行記の発信を行いました。加えて、一泊二日のモデルプランを提案し、春の四重奏のみでなく、周辺の観光を含んだ旅行を提案しました。

ネットニュースでは「LINE TODAY」や「Google News」など利用者の多いプラットフォームを用いて発信することで、幅広い層に情報を届けることができます。

旅行商品が造成されるための動きと、認知度を高める動きのバランスを取りながらプロモーション活動を進める必要があると言えます。



## 2. 黒部峡谷鉄道株式会社

黒部峡谷鉄道では、台湾で公式アカウントを開発し、繁体字で情報発信を行っています。

Facebookという台湾人にとって身近なプラットフォームで情報発信し、読みやすい言語で発信することで、興味関心が高まることを期待しています。その他、旅行会社へのプロモーションの一環として、台北国際旅行博「ITF2023」の北陸ブースや、商談会にも積極的に参加しています。

2024年3月には台湾の台中にある三井アウトレット台中港でのプロモーションイベントも実施予定です。

富山県台北ビジネスサポートデスクとして、富山県への観光客の誘客のニーズの高まり、富山県への来訪ニーズの高まりを感じています。また、観光業のみでなく様々な産業が台湾市場に進出してきています。

富山県の皆様が安心して台湾市場にチャレンジできるように私たちはサポートしてまいります。ご相談があればお気軽にお問い合わせください。



立山黒部・富山・長野・岐阜広域観光商品提案会